

広報ワーキングおよびイベント実行委員会の活動

【目 次】

活動報告概要	P 2
1. イベント	P 4
2. 对外発表等	P 16
3. HPの改訂	P 22
4. パンフレットの改訂	P 25
5. 2021年度の広報活動計画（案）	P 36

活動報告概要

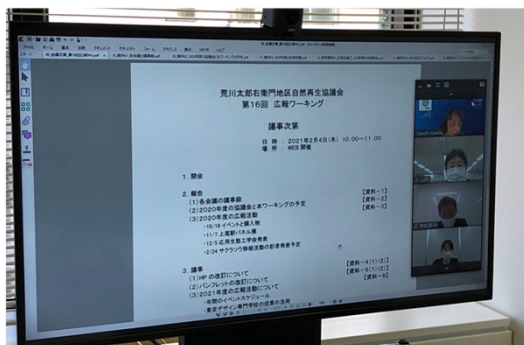
- 第50回協議会(2020年2月6日)以降、広報ワーキングを1回、イベント実行委員会を2回、実施しました。
- 広報ワーキングおよびイベント実行委員会では、協議会の活動の広報やイベントの具体的な実施内容等について協議しました。

会議区分	日時	場所
第1回2020年度イベント実行委員会※	2020年 8月12日	上尾市文化センター
第2回2020年度イベント実行委員会※	2020年12月 3日	
第16回広報ワーキング	2021年 2月 4日	WEB開催

※維持管理・環境管理専門委員会と合同開催

イベント区分	日時	イベント名
協議会主催イベント	2020年10月18日	秋イベント

イベント区分	日時	イベント名
自治体主催イベント	2020年11月 7日	上尾市環境パネル展



第16回広報WG
(2021年2月4日)



第2回2020年度イベント実行委員会
(2020年12月3日)



秋イベント
(2020年10月18日)



上尾市環境パネル展
(2020年11月7日)

活動報告概要

主な報告・提案・発議事項

区分	内容	参照ページ
報告	・ 前回協議会で承認された内容で、イベントを実施しました。 ・ 10/18の秋イベントにあわせて助成金で購入した資機材は維持管理作業や秋イベントで活用しています。 ・ 对外発表を行いました。 ・ コロナ禍のため、主催イベント・自治体イベントの多くは中止となりました。	P5-13：秋イベント P14-15：上尾市パネル展 P16-21：对外発表
提案	・ HPの改訂(案)を提案します。 ・ パンフレットの改訂(案)を提案します。 ・ 2021年度の広報活動計画(案)を提案します。	P22-24：HPの改訂(案) P25-35：パンフレットの改訂(案) P36-41：2021年度の広報活動計画(案)

1. イベント

1) 秋イベント

秋イベント実施状況

1) 概要

●東京デザイン専門学校提案（2019年度）を活用し、桶川西高校や本田エアポートの協力を得て秋イベントを実施しました。

項目	内容
日時	10月18日（日） 9:30~12:00
タイトル	親子で楽しくエッグハント
目的	自然再生地・事業の認知拡大
場所・内容	【中池】①エッグハント、②昆虫観察、③水生生物展示
内容・担当	全体 実行委員長：川島委員長 会計：寄付金等管理事務局
	当日 ①エッグハント：堂本委員、小川委員、事務局 ②昆虫観察：長畑委員、荒木委員 ③水生生物展示：桶川西高校科学部11人（生徒8・教員3） 受付：事務局 班引率：各委員・事務局 司会：桶川西高校放送部4人（生徒3人、教員1人） 会場誘導・駐車場管理：事務局
参加人数	31人
参加費	200円（※協議会で予算承認済み）
広報	協議会作成のポスター・チラシ（右記参照）
	広報誌 ・上尾市広報誌（10月号） ・桶川市広報誌（10月号） ・上尾市フリーペーパー あげいる（10月号） ・ショッパー電子版（9/11掲載） ・桶川駅掲示板
	SNS ・荒上HP・Twitter・Facebook ・協議会Facebook
	荒川上流河川事務所 記者発表
	WEB掲示板 ・EICネット ・環境らしんばん ・CANPAN 日本財団 ・こどもエコクラブ
物品	参加者持参物：長袖、長ズボン、帽子、軍手、飲み物、マスク等
資金	サイサン環境保全基金助成活用

【チラシ・ポスター】

- ・東京デザイン専門学校デザインを採用
- ・サイサン環境保全基金助成にて印刷

araCawaii
たろエッグハント
たろエッグをさがせ

荒川を冒険して
たろえもんをゲット!

親子で楽しくエッグハント

2020.10/17 (土) 9:30~12:00

9:00 受付開始 | 小雨決行、荒天延期

【申込・問い合わせ先】 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局
国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所内

〒350-1124 川崎市麻生区 3-12
TEL: 049-220-0145 / FAX: 049-247-9850 / Eメール: ktr-taro@mlit.go.jp

【主催】 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会
【後援】 国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所

・このイベントは、公益財団法人サイサン環境保全基金助成事業の助成を受けて行われます。
・このイベント企画、及びチラシデザインの制作は、東京デザイン専門学校
のビジュアルデザイン科3年生（2019年度）が考えました。

※お問い合わせ先
【お問い合わせ先】 荒川上流河川事務所ホームページ
http://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index025.html

秋イベント実施状況

2) 実施状況

- イベントは、降雨予報のため予備日の10月18日（日）に実施し、参加者は31人でした。
- 4班に分かれて、2班はエッグハント、残り2班は昆虫観察・水生生物観察を交代で行いました。
- 桶川西高校の放送部・科学部に運営・出展協力を頂きました。また、本田航空株式会社に駐車スペース等の協力を頂きました。



エッグハントの様子



エッグハント（種まき）の様子



水生生物観察の様子
(桶川西高校科学部のご協力)



エッグハントのタマゴ



昆虫観察の様子



桶川西高校放送部のご協力

秋イベント実施状況

3) 収支

<助成申請対象>

品目	数量	金額(円)
チラシ・ポスター印刷	一式	52,038
ラベルシール	2セット	2,760
図鑑・すごろくセット印刷	一式	153,257
看板	1個	25,773
看板用土台	1個	4,245
エンジン式刈払機	2台	58,324
エンジン式チェーンソー	1台	26,272
チェーンソー用チェーンオイル	1個	980
合計		323,649

[2020年度助成決定額(助成額) : 324,389]



すごろく



看板・看板用土台

<助成申請対象外>

①支出

内容	品目	数量	単価(円)	金額(円)	備考
保険	保険の申込	70	30/人	2,100	参加者50人想定・スタッフ10人分+予備10人分
消耗品		適量	—	2,200	子供用軍手
合計				4,300	

②収入

内容	品目	数量	単価(円)	金額(円)
参加費	参加費	参加者 31人	200/人	6,200
合計				6,200

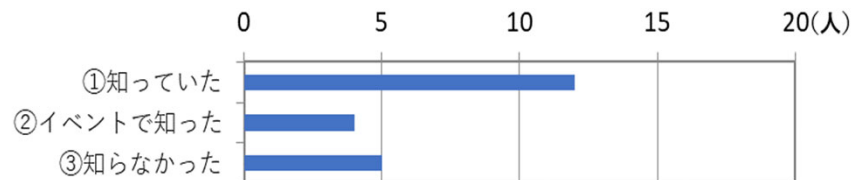
●助成申請対象外・・・収支1,900円(収入6,200円—支出4,300円)

秋イベント実施状況

4) アンケート結果

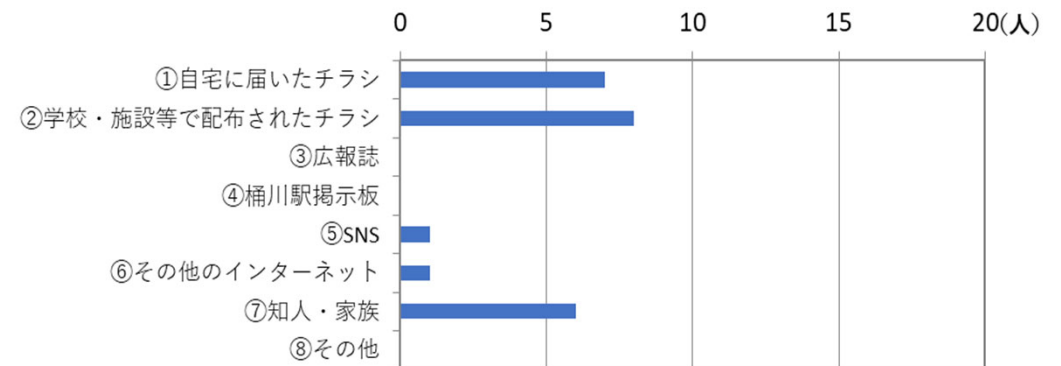
N = 21人

Q1. 太郎右衛門自然再生地を知っていましたか？



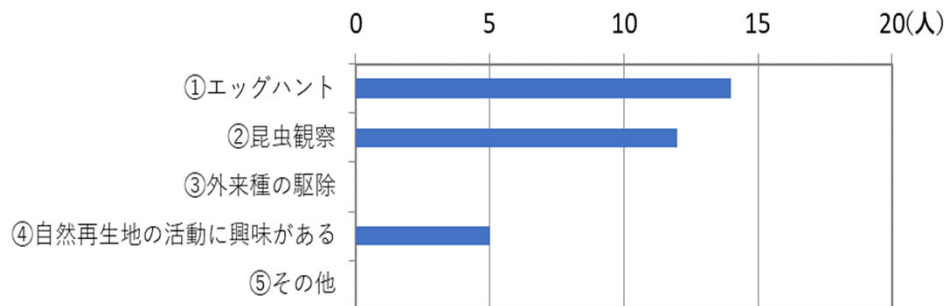
「①知っていた」、「②イベントで知った」は76%でした。

Q2. このイベントを何で知りましたか？（複数回答可）



「①自宅に届いたチラシ」、「②学校・施設等で配布されたチラシ」、「⑦知人・家族」でイベントを知った方が多かったことが分かります。

Q3. このイベントに参加した理由は何ですか？（複数回答可）



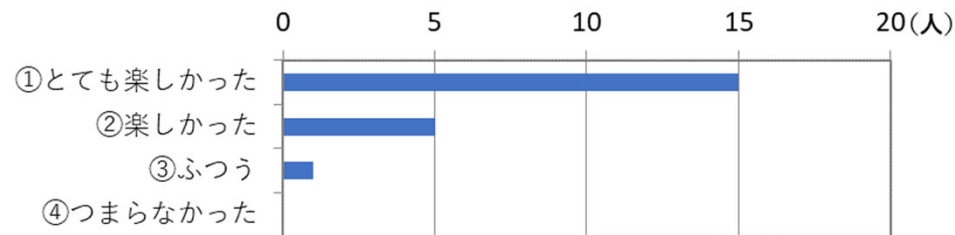
「①エッグハント」、「②昆虫観察」が多かったことが分かります。

秋イベント実施状況

4) アンケート結果

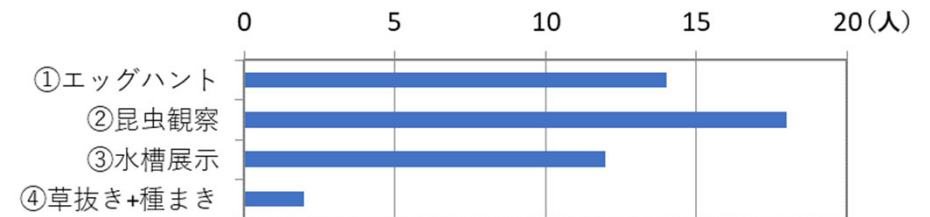
N = 21人

Q4-1. このイベントの企画はどうでしたか？



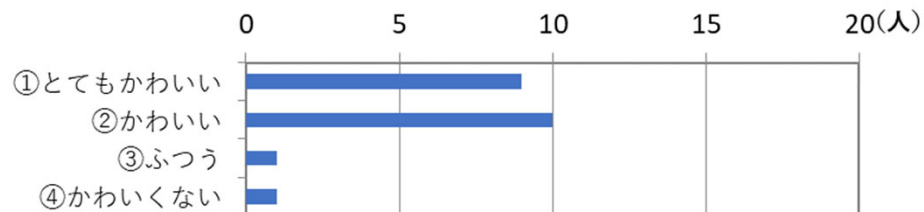
95%の方が「①とても楽しかった」、「②楽しかった」と回答しました。

Q4-2. ①～②と答えた方は、どの企画が楽しかったですか？
(複数回答可)



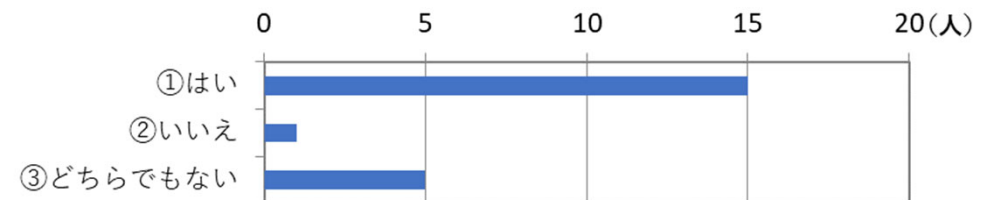
「①エッグハント」、「②昆虫観察」、「③水槽展示」が多かったことが分かります。

Q5. タマゴのキャラクターのデザインはどうでしたか？



「①とてもかわいい」、「②かわいい」は90%でした。

Q6. 東京デザイン専門学校が企画したイベントに
今後も参加してみたいですか？

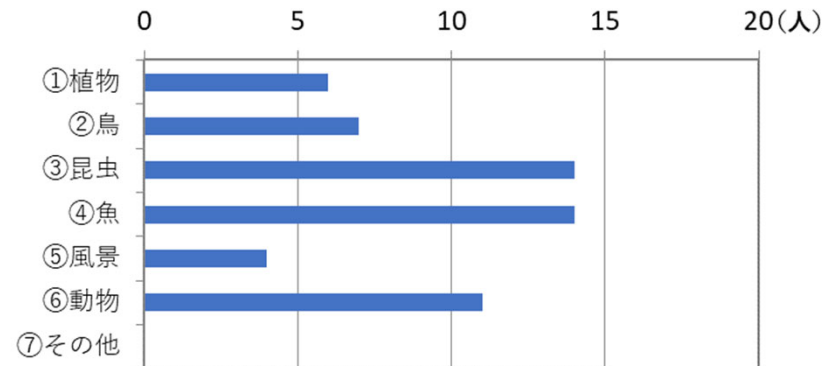


71%の方が「①はい」と回答しました。

4) アンケート結果

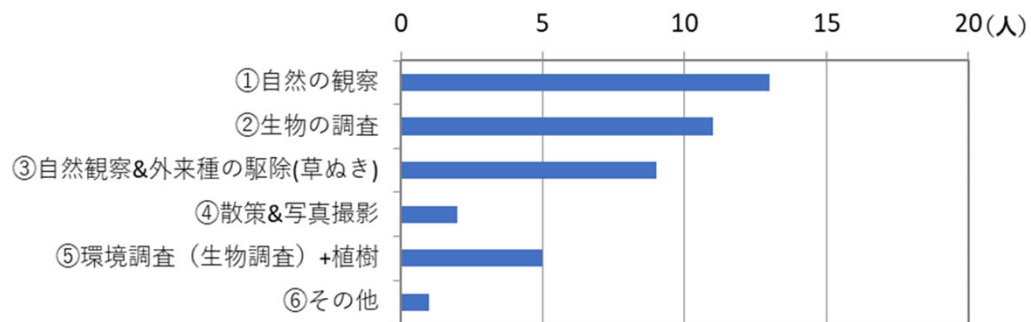
N = 21人

Q7. 自然について興味があるものは何ですか？（複数回答可）



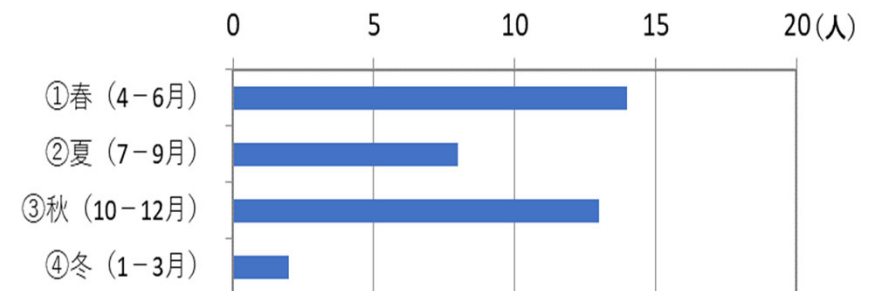
特に、昆虫・魚について、どれも興味が高いことが分かります。次年度イベント企画の参考にします。

Q8-1. 今後どんなイベントに参加したいですか？（複数回答可）



「自然の観察」や「生物の調査」の人気の高いようです。次年度イベント企画の参考にします。

Q8-2. (①～⑥と答えた方) イベント開催時期はいつ頃が良いですか？（複数回答可）



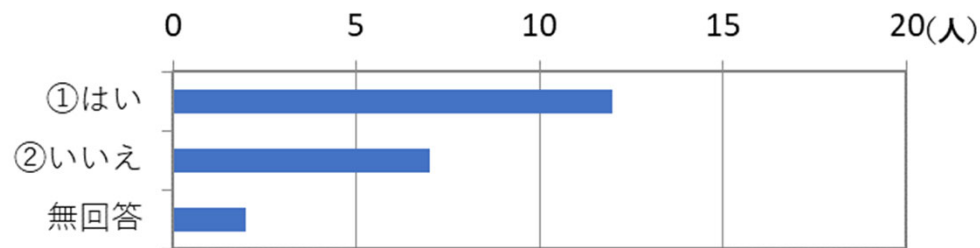
「春」または「秋」がよいことがわかります。

秋イベント実施状況

4) アンケート結果

N = 21人

Q9-1. 今後、自然再生の活動（維持管理や市民会議等）に参加したいと思いますか？



57%の方が「①はい」と回答しました。

Q9-2. 差し支えなければ、その理由を教えてください。

「①はい」と答えた人

回答者	回答
1	たのしいから
2	たのしかった。
3	楽しかったから。
4	子どもや孫の世代に引き継ぐ大切な活動だと思います。

「②いいえ」と答えた人

回答者	回答
1	まだ子供が小さいので会議などは難しい為
2	むずかしいから

Q10. その他、ご意見があればきかせてください。

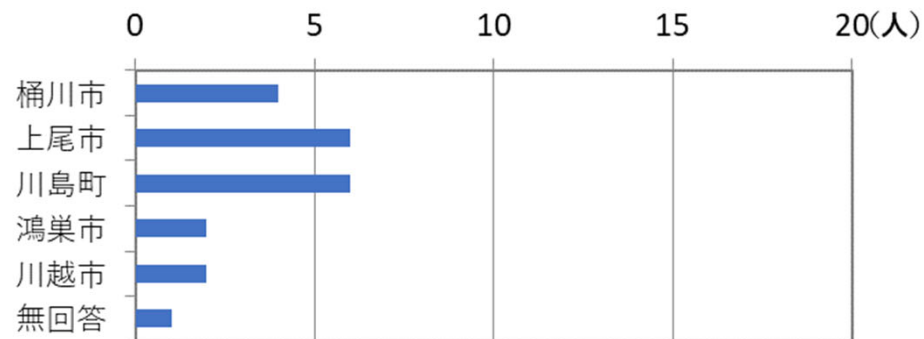
回答者	回答
1	とても楽しく気持ちのよい時間が過ごせました。ご準備大変だったと思いますが、スタッフの皆さんが温かく、参加されている子ども達が生き生きしていてよかったです。

秋イベント実施状況

4) アンケート結果

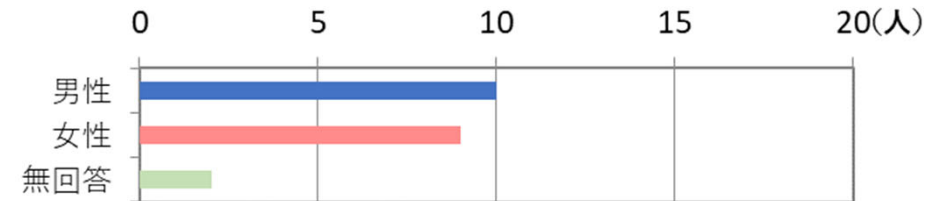
N = 21人

住所



近隣の自治体から来られた方が多く、地元の方に太郎右衛門自然再生地を知っていただく良い機会となったものと思われます。

性別



男女の割合はほぼ同数という結果となりました。

年齢



親子連れが多かったことから、10歳未満・10代、30・40代が多い傾向でした。

2) 上尾市環境パネル展

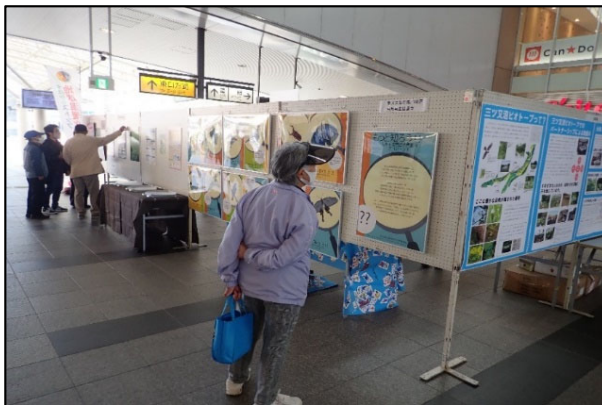
上尾市環境パネル展の出展状況

- 11月7日（土）にJR上尾駅自由通路にて開催された「上尾市環境パネル展」（主催：上尾市環境推進協議会）に出展しました。
- 東京デザイン専門学校（2019年度）企画提案の「駅広告」を、上尾市環境パネル展にてプレ展示しました。

日時 令和2年11月7日（土） 10:00～16:00

会場 JR上尾駅自由通路

展示物 パネル展示（13枚）



出展時の状況

2. 对外発表等

1) 応用生態工学会発表状況

●12月5日（土）に開催された「応用生態工学会2020 年Web 研究発表会」（主催：応用生態工学会）に発表しました。

応 用 生 態 工 学 会

2020年度Web研究発表会講演集

日時：2020年(令和2年)12月5日（土）

会場：オンライン（Zoomウェビナー）

応 用 生 態 工 学 会

OA-5

荒川太郎右衛門自然再生地における湿地環境の再生

渡辺誠¹⁾、鬼頭岳彦²⁾、逢沢英之²⁾、中村彰吾¹⁾、加藤授人¹⁾、田邊龍太³⁾

1)株式会社日水コン、2)国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所、
3)公益財団法人日本生態系協会

1. 荒川太郎右衛門地区自然再生事業について

「荒川太郎右衛門地区自然再生事業」（以下、本事業と称す。）は、自然再生推進法に基づき日本で最初に設立された協議会である「荒川太郎右衛門地区自然再生協議会」（以下、協議会と称す。）において、東京湾に注ぐ荒川の中流 50.4～54.0km 区間で実施している湿地環境の再生事業である。当地は縦断勾配が 1/1,000 以下と緩やかで、本来は蛇行河川となる場所であるが、河川改修により低水路がショートカットされている。残された旧流路やその周辺は、冠水頻度の低下や土砂堆積、遷移の進行などによって、乾燥化やこれに伴う外来種の侵入、ハンノキ林の高木・壮齢樹化が進んでいるため、本事業は湿地環境を保全・再生し、過去に確認された当該区域の多様な生き物や関東全域における生態系ネットワークの指標種が生息・生育するようにすることを目標として実施している。



図1 荒川太郎右衛門自然再生地
(延長約 4km、面積約 400ha)

2. 本事業の取り組みと成果

本事業では、主に旧流路の河床と周辺の高水敷を掘削することにより湿地再生を実施している。工事は荒川上流河川事務所が「実施計画」に基づいて 2011 年度から本格的に開始し、2019 年度に終了した。その結果、掘削箇所ではエキサイゼリ等の希少植物の増加や近年確認例が無くなっていたニホンアカガエルの産卵、ハンノキの移植箇所では埼玉県の蝶であるミドリシジミの飛来・産卵など、再生の目標としていた生物が確認されている。



図2 湿地再生の例



図3 確認された目標種の例

3. 今後の課題

確認されていない、あるいは断続的な確認に留まっている目標種もあることから、生息・生育環境条件が未形成であると考えられるが、具体的な条件は把握できていない。また、整備地ではオオカワヂシャ、自然再生地全体では各種の外来植物やアライグマ、ガビチョウ等が増加しているが、在来種への影響は不明である。エコロジカル・ネットワーク形成の観点からは、近隣の自然地と協働するべき内容もあると考えられる。これらを明らかにし、維持管理に反映することが必要であるが、約 400ha に及ぶ自然再生地を協議会のみで管理することは不可能であるため、社会連携も進めていく必要がある。

※参考情報

- ・荒川太郎右衛門地区自然再生事業 : https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index025.html
- ・荒川太郎右衛門地区自然再生協議会 : <https://sites.google.com/site/tarouemonarakawa/>



図4 社会連携活動の例
(東京デザイン専門学校の学生の企画によるイベントを桶川西高校の協力とサイサン環境保全基金の助成により実施)

2) サクラソウ移植活動の記者発表予定

サクラソウ移植活動の記者発表予定



令和3年2月●●日(●)
川 島 町
国土交通省 関東地方整備局
荒川上流河川事務所

記者発表資料(案)

荒川太郎右衛門自然再生地にサクラソウを移植します！ ～荒川の草花が人と地域を繋ぎます～

荒川の河口から約50～54km(太郎右衛門橋)区間の埼玉県上尾市、桶川市、川島町の荒川の河川敷の旧流路周辺において自然環境の保全・再生を行うため、学識経験者やNPO、地域住民、行政などで構成された荒川太郎右衛門地区自然再生協議会が自然再生事業に取り組んでいます。

このたび、荒川におけるエコロジカル・ネットワークの取り組みの一環として、荒川太郎右衛門自然再生地の自然環境の質的向上を目的に埼玉県の花に指定されているサクラソウの移植を行います。なお、サクラソウの移植は、平成31年度より荒川太郎右衛門地区自然再生協議会と連携して自然再生保全活動に参加している川島町立つばさ北小学校が行います。

内容：荒川太郎右衛門自然再生地サクラソウ移植活動(別紙1)

日時：令和3年2月24日(水)10時00分～11時00分

雨天延期2月26日(金)10時00分～11時00分

場所：荒川太郎右衛門自然再生地(埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷)(別紙2)

【報道機関の皆様へ】

- 取材を希望される報道機関の方は、事前登録をお願いします。(別紙3)
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、マスクの着用、検温、消毒にご協力をお願いします。

HPアドレス：https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index024.html

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、川越新聞記者会
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会

問い合わせ先

問い合わせ先	
荒川太郎右衛門地区自然再生協議会 (事務局：国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所)	川島町教育委員会 教育総務課
副 所 長 米沢 拓繁 よねがわ ひろき 河川環境課長 鬼頭 岳彦 おとう たけひこ TEL:049-220-0145	理 事 粕谷 克己 かすや かつみ TEL:049-299-1730

(別紙1)

「荒川太郎右衛門自然再生地サクラソウ移植活動」

- 開催日時 令和3年2月24日(水)10時00分～11時00分
雨天延期2月26日(金)10時00分～11時00分
- 開催場所 荒川太郎右衛門自然再生地(埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷)
- 主 催 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会
- 協 力 川島町立つばさ北小学校児童(4年生)
- スケジュール



イメージキャラクター
「たるもん」



時 間	プログラム	関係者
9:45 (15分)	■受付	
10:00 (15分)	■開会 ・開会挨拶 ・サクラソウ移植の取組と植物の説明	・荒川太郎右衛門地区自然再生協議会
10:15 (30分)	■サクラソウ移植 ・児童への挨拶 ・サクラソウ移植方法の説明 ・児童によるサクラソウ移植作業 ・記念撮影	・荒川太郎右衛門地区自然再生協議会 ・川島町立つばさ北小学校児童(4年生)
10:45 (15分)	■閉会 ・閉会挨拶	・川島町

6. サクラソウ



移植箇所の維持管理作業(令和3年1月8日)

サクラソウは、やや湿ったオギ原に育つ多年草で定期的に維持管理が必要です。そのため、協議会では、維持管理活動への参加者を募集しています。



サクラソウ(埼玉県の花)

自然再生地に移植するサクラソウは、江川下流域のサクラソウトラスト地(上尾市領家)で大切に保全されている「NPO法人 エンハンスネイチャー荒川・江川」のご協力により、株を譲り受けます。

サクラソウ移植活動の記者発表予定

(別紙2)

「荒川太郎右衛門自然再生地サクラソウ移植活動」 会場案内図

- ・令和3年2月24日(水) 10時00分 ~ 11時00分
- ・荒川太郎右衛門自然再生地(埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷)

位置図 (※国土地理院の電子地形図(タイル)に会場位置・詳細図範囲を追記して掲載)



詳細図 (※国土地理院の電子地形図(タイル)に会場位置を追記して掲載)

説明案内板(下図星印)に事務局が待機していますので、ご案内します。



(別紙3)

「荒川太郎右衛門自然再生地サクラソウ移植」 【取材登録書】

「荒川太郎右衛門自然再生地サクラソウ移植」について、取材を希望される報道機関におかれましては、下記登録内容を令和3年2月19日(金)17時まで事前に登録をお願いします。

- 登録先 : 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局
- メール : ktr-tarou@mlit.go.jp
- 期 限 : 令和3年2月19日(金) 17時

(登録内容)

(1) 報道機関名:

(2) 担 当 者:

(3) 連 絡 先:

(4) 取材人数:

(5) 車の有無(台数): 有(台) ・ 無

3. HPの改訂

HPの改訂について

- 自然再生地のプロモーションに関する東京デザイン専門学校（2019年度）からの提案の一つとして、協議会HPデザイン案がありました。
現在のHPは開設当初のまま7年が経過しているため、これを機にデザイン・内容を改訂することとします。（第50回協議会提案・了承済み）
- 協議会位置づけや会議記録、事業内容など基本的な事項は、荒上HPに網羅されていることから、情報の重複は回避して、以下方針で改訂します。
 - 1）閲覧した方に現地の魅力が伝わるようにすることを主眼とします。
 - 2）イベントなどの最新のニュースはフェイスブックを通じて荒上記者発表の内容を発信することとし、協議会HPにリンクを貼ります。
 - 3）東京デザイン専門学校からYouTubeの活用提案も頂いたため、協議会HPに動画のリンクを貼ります。（学生作成動画、空撮映像等を予定）
 - 4）事業やその他の基礎的な情報は荒上HPのリンクを貼ってそちらを参照いただくようにします。
- なお、広報WGでは、企業等の外部協力や連携についての紹介や新たな協力依頼などに関わる情報の掲載があると良いとの意見が出ており、これについては本HPのさらなる改善点として、東京デザイン専門学校に依頼する取り組み課題として相談していきます。

東京デザイン専門学校（2019年度）デザイン案を活用した協議会HP改訂方針



※参考：現在のHPのトップページ



荒川太郎右衛門地区自然再生

- 荒川について
- あらまし
- 協議会について
- どこにあるの？
- 活動について
- よみがえった自然
- 予定表（カレンダー）
- お知らせ

私たちは、荒川の太郎右衛門地区の自然再生を目指して活動をしています！
多くの動植物があるべき姿で生息できるように、自然に少し手を貸す活動を、私たちと一緒にに行いませんか？ 家族や友人と楽しみながら参加出来るイベントも開催しています。
どうぞ参加下さい。



家族と！ 友人と！
仲間で楽しく自然再生
いっしょに自然をとりもどそう!!

●facebookをはじめました！
[「荒川太郎右衛門自然再生地」](#) ← こちらをご覧ください。

更新情報

[facebookを始めました！](#) 今後、活動のお知らせや報告は、facebookを中心に発信していく予定です。ぜひごらんください！
投稿: 2016/12/08 16:43、tarouemon arakawa

1 - 1/3 件の投稿を表示中 [もっと見る](#)

協議会活動のお知らせ

[第39回協議会を開催しました。](#) 下記の日時・場所で第39回協議会を開催いたしました。平成27年3月11日 水曜日 10時～場所：上尾市文化センター
投稿: 2015/03/17 21:25、tarouemon arakawa

[第38回協議会を開催しました。](#) 下記の日時・場所で第38回協議会を開催しました。●平成26年12月16日（火） 9:30～●桶川市農業センター
投稿: 2015/01/13 20:38、tarouemon arakawa

4. パンフレットの改訂

2. 協議会パンフレットの改訂方針

- 現在のパンフレットは、「協議会」「事業・整備内容」「生物」の紹介を基本としており、改訂に際してもこれを踏襲します。
見開きで8枚の構成についても踏襲します。
※別途、携帯性を考慮したA4の三つ折りマップを作成しているため、簡易化したものとはしません。
※イベントの参加者や協議会への協力交渉をする団体・企業などへの説明に用いるため、詳細化したものとはしません。
(仮にページ増とする場合、冊子ページは4の倍数で構成されるため、見開きで12枚等となります)
- 各ページの改訂方針は次ページ以降のとおりとします。
- なお、広報WGでは、本パンフレットや既存のマップリーフレット以外に、より現地の状況が詳しくわかるものなどがあると良いとの意見が出ており、これらについては東京デザイン専門学校に依頼する取り組み課題として相談していきます。

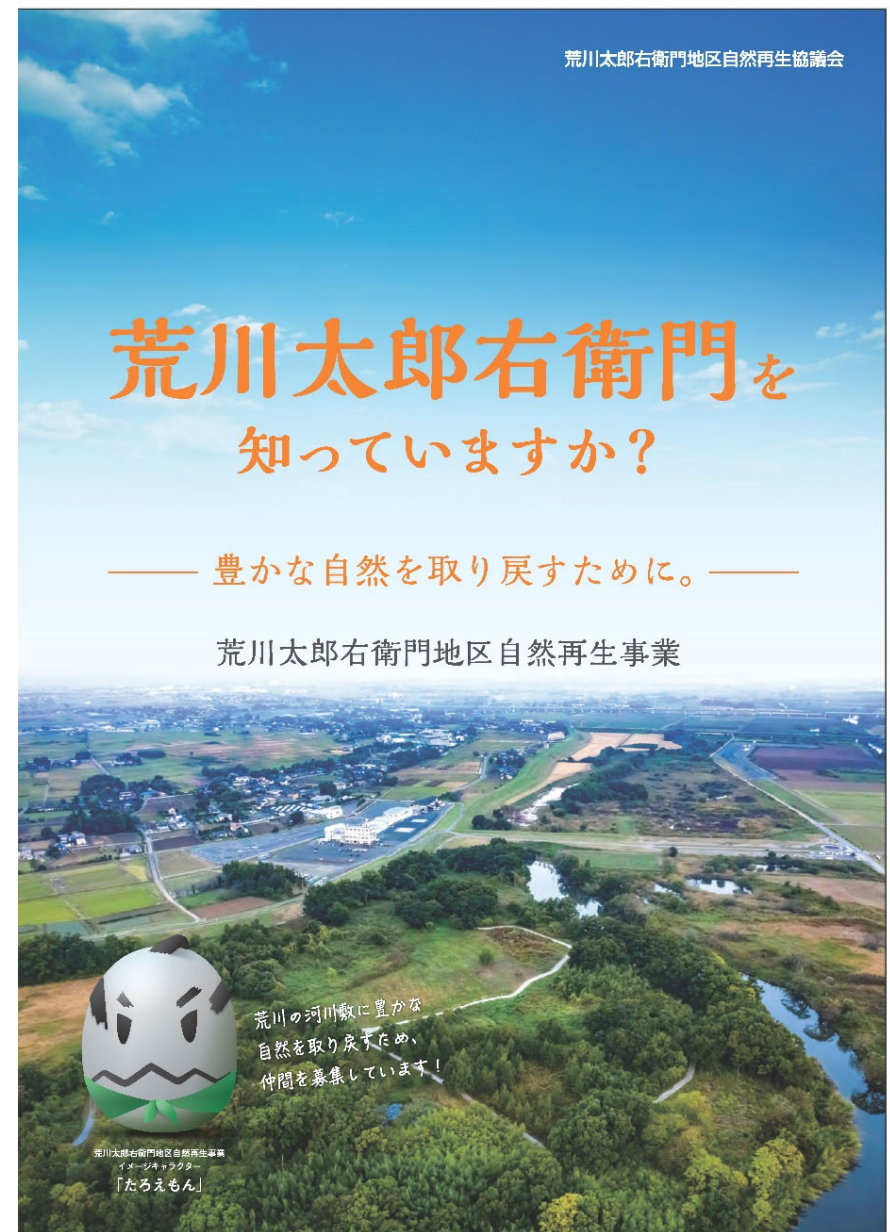
2. 協議会パンフレットの改訂方針

表紙

現在



更新(案)



基本的なデザインはそのままとします。

2. 協議会パンフレットの改訂方針

裏表紙

現在



更新(案)



デザインはそのまま情報を更新します。
(※更新対象は、圏央道、現地駐車箇所・看板等)

P1-2

基本的なデザインはそのままとします。

写真・文章は見直します。

「市民参加」⇒「協議会」とします。

現在、P6に記載されている協議会の概要情報をこちらに記載します。
記載内容は現在よりも減らします。

作成当時の委員意見を踏まえて「ふりがな」を原則としてすべてにつけることとしましたが、かえって読みにくくなっています。

「読んでいただく」人は中学生以上が想定されるため、ふりがなは最低限とします。

※以降、同様とします。

自然再生協議会組織

自然再生協議会
設立年月日 平成15年7月5日

会長 浅枝 隆 (埼玉大学学長)

メンバー構成

協議会
総勢39名で構成されている協議会です。

代表理事 大学教授 4名
一般委員 NPO代表者 15名
顧問 川崎市・川島町・上尾市市民 12名
埼玉県 (県庁関係、会館・スタジアム等、農林関係、農林関係) 7名
及び川崎市、川島町、上尾市行政関係者 1名
国 (国土交通省)

参加している環境団体や企業

人間川ビオトープネットワーク研究会
人間川の土壌と自然を守る会
川島市環境対策協議会
希少植物を守る会
希少植物を守る会
高麗あさるとの会
道の駅いづみいづみ大学学園「影尖舎」
道の駅を文化にする会
特定非営利活動法人 荒川の自然を守る会
特定非営利活動法人 荒川流域ネットワーク
特定非営利活動法人 シンボルネイチャー荒川・江戸川
特定非営利活動法人 荒川ネットワーククラブ
特定非営利活動法人 報告の環境を考える連絡協議会
一般社団法人 浦瀬市観光協会 観光ボランティアイベント部会
株式会社 日本エココンサルタント 関東支店
本田技研工業株式会社

ここは記載しません。

なさを募集しています!

6

2. 協議会パンフレットの改訂方針

更新(案)

荒川太郎右衛門地区自然再生事業 概 要

「荒川」は、甲武信ヶ岳に源を発し、秩父盆地・長瀬渓谷を経て関東平野の埼玉・東京の都県境を流れ、東京湾に注ぐ長さ 173 キロメートルの一級河川で、「荒川太郎右衛門自然再生地」はその中流部の桶川市・川島町・上尾市に位置する広大な河川敷です。「太郎右衛門」の名称は、江戸時代にこの地で渡し船を開設した人の名前とされ、この地域や橋の名称に今も受け継がれています。

「荒川太郎右衛門自然再生地」は、かつて河川改修で荒川の主流が直線になったとき、旧流路として残った 3 つの「池」を中心とした場所です。しかし、かつて湿地が広がっていたこの場所は、「①河床低下により池を中心とした湿地が減少してきている」「②樹林地が高木・杜齢化してしまい河畔の特徴的な姿が失われてきている」という大きな課題があります。

「荒川太郎右衛門地区自然再生事業」は、この荒川太郎右衛門地区で、本来の自然環境を取り戻そうとする「自然再生推進法」(平成 14 年制定)に基づく事業です。

自然再生とは、過去に損なわれた生態系その他の自然環境を取り戻すことを目的として、行政機関、地域住民、環境団体、専門家など地域のいろいろな方たちが参加して、自然環境を保全、再生、創出、維持管理することをいいます。

自然環境の保全

良好な自然環境がある状態を積極的に守ること

再 生

損なわれた自然環境を取り戻すこと

創 出

大都市など自然環境がほとんど失われた地域を緑の空間の造成などにより、その地域の自然生態系を取り戻すこと

協議会の取り組み

設立年月日 平成 15 年 7 月 5 日

会 長 浅枝 隆 (埼玉大学名誉教授)

メンバー構成

学識委員 大学教授等	4 名
一般委員 NPO 代表者	15 名
桶川市・川島町・上尾市住民	12 名
埼玉県 (河川砂防課、公園スタジアム課、農業政策課、農村整備課) 及び桶川市、川島町、 上尾市行政関係者	7 名
国 (国土交通省)	1 名

協議会

取り組みの内容を決めるため、年に 2 回程度、室内や現地で会合を行っています

移 植

埼玉県の「県の樹」、ミドリシジミの館になる
パンノキの移植を行っています

広 報

みなさんに荒川太郎右衛門地区
自然再生事業を知っていただくため、
昆虫観察や維持管理体験などの
イベントを行っています

みんなも参加してね！

高校生対象の公募で決定した
イメージキャラクター
「たろえもん」

調査(モニタリング)

取り組んだことが、目的にあっているかを
確認するために調査や検討を行っています

維持管理

整備した場所の
管理・見守りをしています

このパンフレットに掲載している写真は、
協議会委員が撮影したものです。

SDGsについて記載予定です。
これを入れる場合は、このページに入れることを提案します。

2. 協議会パンフレットの改訂方針

P3-4

現在

基本的なデザインはそのままとします。

写真・文章は見直します。

自然再生地の紹介とします。



このページでは生物写真は入れず、景観中心とします。

航空写真は新しいものとし、整備地範囲とともに、看板位置・散策ルート・見どころ・駐車箇所を示します。

整備地の説明を更新します。
(中池も追加します)

2. 協議会パンフレットの改訂方針

更新(案)



2. 協議会パンフレットの改訂方針

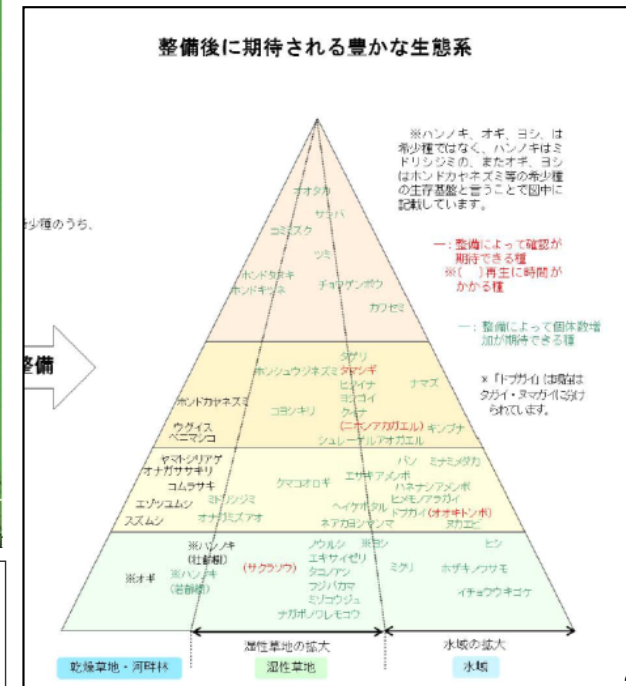
P5-6

現在

基本的なデザインはそのままとします。

写真・文章は見直します。

この部分はP2-3に移動します。



「上池」「中池」「下池」の主に整備地で見られる生物、
「自然再生地全体」で見られる生物という区分にします。
「目標種」の情報を追加します。

5. 2021年度の広報活動計画（案）

1. 広報WGの2021年度の活動方針

●2021年度の活動方針

- ✓ 2020年度に続きイベント開催や自治体のイベントへの出展を実施します。
- ✓ 多様な主体との連携協働による共催者やイベント協力者の輪が広がっています。これらをさらに進めます。

※参考：これまでの活動の成果と課題

分類		活動内容と実績		成果	課題
ソフト	イベント	太郎・江川・三ツ又の3地区合同観察会	・2017～2019（4月に実施） ※2015は雨天中止、2020はコロナで中止	・毎回概ね定員程度の集客があり、参加者にも好評です。	・参加者は多く好評のため、エコロジカル・ネットワークの観点から継続的に実施していく必要があります。
		散策イベント	・2018～2019 合計5回実施 ※2018年6月は雨天中止、2020に予定の3回はコロナで中止	・4回は自由参加型、1回は事前申込型で実施しました。自由参加型では参加者数の変動が大きいです。リピーターの参加もあり、一定の集客があります。	・「定期的」に継続していくためには、より運営を省力化していく必要があるとの意見が出ています。
		ミドリシジミ観察・下池植生管理	・2016～2017、2019（6月に実施） ※2018は雨天中止、2020はコロナで中止	・定員に満たない場合が多いですが、参加者には好評です。2019は学生団体に参加頂きました。	・時期的に雨天となる場合が多く、ミドリシジミを観察できるタイミングが難しい状況です。
		地元住民（子ども）対象のイベント	・2012～2018、2020 毎年10月にイベントを1回実施。 2013のみ5月と11月に2回実施。 ※2019は雨天中止。	・学校等へのチラシ配布により集客は毎回順調です。チラシ配布による事業の周知効果もあると思われます。 ・リピーターが少しずつですが出てきています。	・参加者は多く好評のため、今後もニーズにあった企画を検討していく必要があります。
		自治体イベントへの出展	・2014～2020 7年間で上尾市、川島町、桶川市、熊谷市のイベントに合計27回出展。 ※熊谷市は2018に臨時で出展	・生物展示は好評です。 ・川島町主催のウォーキングイベントで、太郎右衛門自然再生地を活用して頂く実績ができました。	・アンケート結果においては、事業や自然再生地の知名度が低いため、引き続き、普及啓発に努めていく必要があります。
	その他	ホームページやSNSを活用した広報	・2013.8～ ホームページ開設 ・2016.11～ Facebook開設 ・2019～ 荒上SNSを自治体SNSでリツイート	・HP勉強会を立ち上げ、HPおよびFacebookを開設しました。（2019年度はFacebookでのイベント告知のみ） ・イベント告知の際に、荒上SNSを自治体SNSでリツイートして頂くようにしました。	・HP勉強会が休止中で、HPが更新できていないため、情報が古くなっている部分があります。Facebookは事務局が更新しています。
		イメージキャラクターの作成	・2013.12作成	・「たろえもん」をチラシ等に掲載使用しています。	—
		配布物	・パンフレットを2013年度に作成 ・マップリーフレットを2018年度に作成（サイサン助成金活用）	・イベントやマーケットリサーチの際に配布しています。	・情報が古くなっている部分があるため、更新する必要があります。
ハード	看板	現地看板	・2012.2設置（横堤） ・2019.1設置（外国語版や詳細情報は荒上HPに掲載） ※2012.2に横堤に設置した看板は2019.1に置き換え	・イベントなどの際に事業の内容を広報しています。	・定期的に除草し、管理していく必要があります。 ・台風第19号により、上池の一部看板が損傷したため、修繕する予定です。

2. 2021年度のイベント計画（案）

- 協議会主催イベントは、従来イベントのバージョンアップ開催に加えて、ニューノーマルなイベントの開催を目指します。
桶川西高校との連携、東京デザイン専門学校アイデア活用、オンラインによるイベントや観察会の試行など、検討していきます。
- 自治体主催イベントは、桶川西高校との連携や、東京デザイン専門学校からの提案を活用する企画を提案します。

◆ 協議会主催イベント

- ✓ 合同観察会 : 4月3日（土）に実施 ※予備日4月4日（日） エコロジカル・ネットワークの展開に向けて継続します。
- ✓ ミドリシジミ観察会 : 6月19日（土）に実施 将来の市民モニタリングにつながる内容であるため、継続します。
- ✓ 秋イベント : 10月2日（土）に実施 ※予備日10月3日（日） 定例の年に1度の大規模イベントとして継続します。
日程については桶川西高校の予定を踏まえて調整し、科学部による魚類調査等も検討します。
企画全体については東京デザイン専門学校の2020年度2期及び、2021年度1期の成果活用を検討します。
- ✓ 散策イベント : 5月22日（土）、9月11日（土）、1月15日（土）に実施 自然再生地の活用に向けたイベントとして継続します。
企画については東京デザイン専門学校の2020年度の成果活用を検討します。

◆ 自治体イベントへの出展

- ✓ 上尾市、川島町、桶川市 : 4月29日（祝）川島町、仮5月8日（日）桶川市、仮11月（上旬）上尾市、仮11月23日（祝）川島町
⇒ 地域の方々へ協議会や自然再生地を周知していくため、自治体イベントに参加していきます。
⇒ 桶川西高校との連携を進めていきます。また、東京デザイン専門学校からの提案がストックされていることから、この成果を公表し、太郎右衛門自然再生地をプロモーションする好機ととらえ、自治体イベントに参加します。

◆ 民間主催イベントへの協力

現時点で具体的な企画はありませんが、依頼があれば適宜協力します。

< 2021年度イベント計画（案） >

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
イベント	協議会主催	3日（土） ：合同観察会 （予備日4日）	22日（土） ：散策イベント	19日（土） ：ミドリシジミ観察・ 下池植生管理			11日（土） ：散策イベント	2日（土） ：秋イベント （予備日3日）			15日（土） ：散策イベント		
	自治体主催	29日（祝・木） ：川島町 「かわじまはるかぜ ウォーク」	8日（日） ：桶川市 「おけがわ春の ふれあいフェスタ」						上旬 ：上尾市パネル展 23日（祝・火） ：川島町農業商工祭				
	民間主催	適宜実施											

3. 東京デザイン専門学校の実績活用について

1) 2020年度の企画提案については、以下の活用を検討します。

- ①イベントの企画デザイン・・・協議会主催の3回の「散策イベント」での活用を検討します。
- ②プロモーションビデオ・・・協議会HPの改訂時に公開を検討します。（YouTubeへの配信など）
- ③看板デザイン・・・中池の案内看板にそれぞれ3ヶ月程度の期間で現地に掲示を検討します。

2) 2021年度については、2020年度2期及び2021年度1期の成果の活用を検討します。

【表彰作品】

■課題A：「中池」誘致の広告（看板デザイン）

企画提案	
子供向けのカラフル看板デザイン 	子ども向けに視認性が高く、探しやすい生物の絵をデザイン。
たろえものの冒険(迷路) 	自然再生地の地図を迷路に迷路を描き、上池から中池へとたどり着くもの。
中池のいきものたちを見つけてみよう！ 	中池の生き物を紹介するデザイン

中池看板設置予定箇所



中池看板（表側）



中池看板（裏側）

中池看板設置イメージ



中池看板（裏側）

3. 東京デザイン専門学校の成果活用について

【表彰作品】

■課題C：荒川太郎右衛門自然再生地のプロモーションビデオ制作

企画提案

Taroemon's Journal



ドローンの映像を使いながら生き物写真を連続的に紹介するもの

荒川太郎右衛門地区を知ろう！



自然再生の事業や取り組みや動植物を紹介するモーショングラフィック作品

荒川太郎右衛門の紹介動画



ドローンの映像と写真を組み合わせて自然再生地を紹介するもの

3. 東京デザイン専門学校の成果活用について

■課題B：ニューノーマルなイベントの企画デザイン

企画提案

巨大すごろく

自然の中でのんびりと
巨大すごろく

荒川太郎右衛門自然再生地を巡って、親子で自然を満喫できるイベントです。自然の中ですごろくをしながら、生き物や植物の観察ができます。自然の観察とすごろくを兼ねたイベントです。

2021.3.27
10:00~12:00

会場 荒川太郎右衛門自然再生地
申込期限 3.19まで
参加費 200円(税込)
服装 長袖・長ズボン
持ち物 帽子・軍手・飲み物
注意 荒川太郎右衛門自然再生地は、自然再生地です。自然の観察とすごろくを兼ねたイベントです。自然の観察とすごろくを兼ねたイベントです。

【申込・問い合わせ先】 荒川太郎右衛門自然再生地自然再生協議会事務局
〒300-1124 千葉県野田市新田 047-247-9550 ext: 161 fax: 047-247-9550
【主催】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局
【協賛】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局、荒川太郎右衛門自然再生協議会

「あまり昆虫や植物に詳しくない親子」という新しいターゲットに向けて、スマホGPS機能と既存アプリサービスを活用して、現地で実寸大のすごろくを楽しみながら自然再生地を体験する企画。



たろえもんといきものスケッチ

たろえもんといきものスケッチ

たろえもんといきものスケッチ

自然の中でのんびりと
たろえもんといきものスケッチ

荒川にある希少な生き物をさがしてスケッチをして、みんなで荒川いきもの図鑑を完成させよう！

2021.3.6(土) 10:00~13:00

会場 荒川太郎右衛門自然再生地
申込期限 3.19まで
参加費 200円(税込)
服装 長袖・長ズボン・帽子・軍手・足袋(色指定あり)
持ち物 飲み物
注意 荒川太郎右衛門自然再生地は、自然再生地です。自然の観察とスケッチを兼ねたイベントです。自然の観察とスケッチを兼ねたイベントです。

【申込・問い合わせ先】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局
〒300-1124 千葉県野田市新田 047-247-9550 ext: 161 fax: 047-247-9550
【主催】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局
【協賛】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局、荒川太郎右衛門自然再生協議会

たろえもんといきものスケッチ

たろえもんといきものスケッチ

自然の中でのんびりと
たろえもんといきものスケッチ

荒川にある希少な生き物をさがしてスケッチをして、みんなで荒川いきもの図鑑を完成させよう！

2021.3.6(土) 10:00~13:00

会場 荒川太郎右衛門自然再生地
申込期限 3.19まで
参加費 200円(税込)
服装 長袖・長ズボン・帽子・軍手・足袋(色指定あり)
持ち物 飲み物
注意 荒川太郎右衛門自然再生地は、自然再生地です。自然の観察とスケッチを兼ねたイベントです。自然の観察とスケッチを兼ねたイベントです。

【申込・問い合わせ先】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局
〒300-1124 千葉県野田市新田 047-247-9550 ext: 161 fax: 047-247-9550
【主催】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局
【協賛】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局、荒川太郎右衛門自然再生協議会

荒川にある植物・動物・昆虫などの希少な動植物を探してスケッチを描き、みんなで荒川のいきもの図鑑をコンプリートさせる企画。季節ごとに生き物も変わるため、何度でもイベントを行えるメリットもある。

企画提案

荒川の自然をスナップしてコレクションするイベント企画

ネイチャー
**スナップ
カメラマン**

2021年7月31日(土)
9:30~12:00

荒川の自然をスナップしてコレクションするイベント企画

荒川の自然をスナップしてコレクションするイベント企画

2021年7月31日(土) 9:30~12:00

会場 荒川太郎右衛門自然再生地
申込期限 7月24日まで
参加費 200円(税込)
服装 長袖・長ズボン・帽子・軍手・足袋(色指定あり)
持ち物 飲み物
注意 荒川太郎右衛門自然再生地は、自然再生地です。自然の観察とスナップを兼ねたイベントです。自然の観察とスナップを兼ねたイベントです。

【申込・問い合わせ先】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局
〒300-1124 千葉県野田市新田 047-247-9550 ext: 161 fax: 047-247-9550
【主催】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局
【協賛】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局、荒川太郎右衛門自然再生協議会

カメラを持って荒川太郎右衛門自然再生地を探索！

生き物や植物の「スナップショット」を撮影して、スクラップブックを作るイベント

ニホンアマガエル

カワラナデシコ

2021年7月31日(土) 9:30~12:00

会場 荒川太郎右衛門自然再生地
申込期限 7月24日まで
参加費 200円(税込)
服装 長袖・長ズボン・帽子・軍手・足袋(色指定あり)
持ち物 飲み物
注意 荒川太郎右衛門自然再生地は、自然再生地です。自然の観察とスナップを兼ねたイベントです。自然の観察とスナップを兼ねたイベントです。

【申込・問い合わせ先】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局
〒300-1124 千葉県野田市新田 047-247-9550 ext: 161 fax: 047-247-9550
【主催】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局
【協賛】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局、荒川太郎右衛門自然再生協議会

「荒川 灯ろうまつり」たろえもんを灯せ

荒川 灯ろうまつり

2021.9.11(土) 17:30~21:00

会場 荒川太郎右衛門自然再生地
申込期限 9/3まで
参加費 長袖・長ズボン、灯ろう、マスク
注意 荒川太郎右衛門自然再生地は、自然再生地です。自然の観察と灯ろうを兼ねたイベントです。自然の観察と灯ろうを兼ねたイベントです。

【申込・問い合わせ先】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局
〒300-1124 千葉県野田市新田 047-247-9550 ext: 161 fax: 047-247-9550
【主催】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局
【協賛】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局、荒川太郎右衛門自然再生協議会

灯ろうを作り荒川の自然再生地に設置し、鑑賞をしてもらう企画

イベント告知と同時に灯ろうキットを配布もしくは、人が集まる場所に設置して自ら持って帰ってもらい、事前に灯ろうを各家庭で作ってもらう。

荒川 灯ろうまつり

2021.9.11(土) 17:30~21:00

会場 荒川太郎右衛門自然再生地
申込期限 9/3まで
参加費 長袖・長ズボン、灯ろう、マスク
注意 荒川太郎右衛門自然再生地は、自然再生地です。自然の観察と灯ろうを兼ねたイベントです。自然の観察と灯ろうを兼ねたイベントです。

【申込・問い合わせ先】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局
〒300-1124 千葉県野田市新田 047-247-9550 ext: 161 fax: 047-247-9550
【主催】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局
【協賛】 荒川太郎右衛門自然再生協議会事務局、荒川太郎右衛門自然再生協議会